第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標１－取組１】

（１）指標の状況

（計画冊子：P53）

No.	指標名 担当	指標の説明	（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値 R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
1	介護保険サービス利用者で在宅生活をしている高齢者の割合		―	―	77.5	78.0	78.5	79.0	○	新型コロナ感染症を経て、感染症による重症化リスクの高い方においては、在宅生活を中心に生活したと考えられる。引き続き、重症化リスクの高い方を中心に在宅サービスを利用することが推測される。	介護保険制度の枠組のなかで、介護支援専門員等への支援を行っている。新型コロナ感染症を経て、感染症による重症化リスクの高い方においては、感染を警戒し、在宅生活を中心にしたと推測される。在宅生活を支援するため継続していく。
	高齢介護課	介護保険サービス利用者のうち居宅サービス・地域密着型サービス利用者の割合［%］	76.3	79.0	79.8	80.0	80.5	80.5			
2	サービス等利用計画作成人数（障害児・者）		―	―	3,500	3,600	4,200	増加	×	計画相談支援事業所（障害児相談支援事業所）において、専門職員によるサービス利用等計画の作成を行っている。適切なサービス利用につなぐため、継続して実施する。	計画相談支援事業所（障害児相談支援事業所）において、専門職員によるサービス利用等計画の作成を行っている。適切なサービス利用につなぐため、継続して実施する。
	障害福祉課	障害福祉サービス、障害児通所支援を利用するにあたりサービス等利用計画を作成している人数［人］	2,832	3,318	3,664	4,092	3,712	3,409			
3	ファミリー・サポート・センター提供会員数		―	―	260	265	270	増加	○	援助を受けたい人「依頼会員」のニーズに応えるため、援助を行いたい人「提供会員」とのマッチングをしてきた。提供会員は２５０名程であるが、同じ地区に住む提供会員が見つからない時もあるので、活動していない提供会員に協力を求めたところ援助につながることもあった。提供会員が不足していることもあり、ポスター、チラシを公共施設やショッピングモールなどに設置した。ミニ交流会を実施することはできなかったが、全体交流会の準備時に少人数ではあるが交流会を実施することができた。昨年度に比べると全体交流会の参加者は増加している、更に多くの方に参加していただけるように周知方法など検討が必要である。	緊急サポートネット事業の講習会受講した方へ、ファミリーサポートセンター事業を紹介をしたところ、３名が提供会員の登録となった。 公共施設やショッピングモールなどに設置した、チラシやポスターを見て、問い合わせや提供会員の希望もあったので、講習会が修了すると提供会員の増加が見込まれる。提供会員数が地区によって偏りがあるので、少ない地区に限定した募集をしなければならない。 依頼会員の減少した時期もあったことから、依頼会員も随時募集をしていく。
	社会福祉協議会	ファミリー・サポート・センター提供会員数［人］	264	255	257	249	250	254			
4	市公式SNS登録者数		―	―	23,500	25,000	26,500	28,000	○	市公式SNSの利用については、広報あげおや市ホームページ等を通じて周知を図った。また、イベントの際には、来場者に対して直接SNSのフォローを呼びかけた。さらに、市公式LINEアカウントリニューアルによる機能追加の影響もあり、令和5年度と比較してSNS登録者数が2,954人増加した。今後も窓口でのPOP設置やイベント等を活用し、積極的に新規登録の促進に努める。	市公式SNSの利用については、広報あげおや市ホームページ等を通じて周知を図った。また、アッピーアカウントの積極的活用や市公式LINEアカウントの機能追加の影響もあり、市公式SNSのフォロワー数は34,974件となり、令和6年度比で6,224件増加した。今後も更なるSNSの戦略的活用により、新規登録の促進に努める。
	広報広聴課	Twitter（総合、防災、子育て、教育）と市公式LINEの合計登録者数［人］	18,239	21,426	23,756	25,796	28,750	34,974			
5	社協公式SNS登録者数		―	―	増加	増加	増加	増加	○	X（旧ツイッター）で支部活動やボランティア講座、寄付等の掲載を積極的に掲載した。今後は、社協がどんなことを行っているのかをもっとPRしていく必要がある。 ⇒R3.4月開設以来、607件の投稿（R7.3.31現在） フォロワー数は、1,319人と着実にフォロワーの増加につながっている。	X（旧ツイッター）で支部活動、ボランティア講座、寄付等の掲載を積極的に掲載した。開設して５年間で職員間での投稿する意識もかなり定着してきた。プライバシーポリシーに配慮しながら、できる限り事務処理を効率化し、さらなる積極的な投稿を意識づけて、社協事業を積極的にPRしていく。⇒R3.4月開設以来、724件の投稿（R8.3.31現在） フォロワー数は、1,469人と着実にフォロワーの増加につながっている。
	社会福祉協議会	上尾市社協公式Twitterの登録者数［人］	未設置	190	710	1,047	1,319	1,469			
6-1	成年後見制度利用支援者数（市長申立件数）（高齢者）		―	―	15	18	7	8	○	成年後見が必要にも関わらず、本人や親族による申立が期待できない場合に、市長申立による成年後見等開始の審判請求を行っている。引き続き、認知症等により判断能力が不十分な人が制度を適切に利用できるよう上尾市成年後見センターと協働し支援していく。	成年後見が必要にも関わらず、本人や親族による申立が期待できない場合に、市長申立による成年後見等開始の審判請求を行っている。引き続き、認知症等により判断能力が不十分な人が制度を適切に利用できるよう上尾市成年後見センターと協働し支援していく。
	高齢介護課	市長による成年後見制度開始の審判請求申立件数［件］	8	2	8	6	4	10			
6-2	成年後見制度利用支援者数（市長申立件数）（障害者）		―	―	2	3	4	増加	○	市長による成年後見制度開始の審判請求相談を受け付け、対象となる人の手続きをすすめている。引き続き上尾市成年後見センターと協働し、市長による成年後見制度開始の審判申し立てを推進していく。	市長による成年後見制度開始の審判請求相談を受け付け、対象となる人の手続きをすすめた。上尾市成年後見センターと協働し、市長による成年後見制度開始の審判申し立てを推進した。
	障害福祉課	市長による成年後見制度開始の審判請求申立件数［件］	1	1	2	6	0	2			
7-1	成年後見制度利用支援者数（報酬助成件数）（高齢者）		―	―	16	17	5	6	○	成年後見制度の利用を必要とする認知症高齢者で、費用負担困難な人（生活保護受給者、低所得者等）に対し成年後見人等の報酬を補助している。引き続き、制度を適切に利用できるよう上尾市成年後見センターと協働し支援していく。	成年後見制度の利用を必要とする認知症高齢者で、費用負担困難な人（生活保護受給者、低所得者等）に対し成年後見人等の報酬を補助している。引き続き、制度を適切に利用できるよう上尾市成年後見センターと協働し支援していく。
	高齢介護課	成年後見人等の報酬に対する助成件数［件］	9	4	4	4	7	10			
7-2	成年後見制度利用支援者数（報酬助成件数）（障害者）		―	―	3	4	5	増加	×	成年後見制度の利用を必要とする精神障害者・知的障害者で、費用負担困難な人（生活保護受給者、低所得者等）に対し成年後見人等の報酬を補助している。制度を適切に利用できるよう、引き続き、上尾市成年後見センターと協働し、対象者への情報提供を行うとともに、成年後見人等の報酬助成を行っていく。	成年後見制度の利用を必要とする精神障害者・知的障害者で、費用負担困難な人（生活保護受給者、低所得者等）に対し成年後見人等の報酬を補助した。制度を適切に利用できるよう、上尾市成年後見センターと協働し、対象者への情報提供を行った。
	障害福祉課	成年後見人等の報酬に対する助成件数［件］	2	3	2	2	5	2			
8	成年後見制度相談件数		―	―	450	500	1,000	増加	○	成年後見制度に関する相談（電話対応814件・来所対応124件・訪問対応141件、新規相談者150名）に対応した。研修・勉強会については3団体から依頼、実施した。その他、他市社協から視察（３市社協）。市民向け講習会「事例から学ぶ成年後見制度」を実施。運営委員会を年2回、支援調整会議を毎月オンラインにて開催した。 申立て支援・多問題を抱える家族支援等、複数回の継続相談が増加している。また、専門職のアドバイスが必要な相談も増えており、各関係機関等と連携を取りながら、各種相談に対応していく。	成年後見制度に関する相談（電話対応916件・来所対応110件・訪問対応227件、メール等113名）に対応した。広報啓発については、市内の2事務区から講演会の依頼があり対応した。また、市民向け成年後見制度講習会を実施。運営委員会を年2回、支援調整会議を毎月オンラインにて開催した。専門職のアドバイスが必要な継続相談が増加している。また、終活講座を受け、逆に将来の不安が強くなり、任意後見制度についての説明を求める方も増加している。
	社会福祉協議会	上尾市成年後見センターにおける成年後見制度に関する相談件数［件］	未実施	10	1,051	1,162	1,099	1,366			

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	80%

（３）取組の進捗状況

B	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

成年後見制度は、高齢者や障害者が安心して暮らせる社会を支える重要な仕組みである。今後は、制度利用の促進と相談支援体制の充実を図る必要がある。また、広報活動においては、SNSを活用し新規登録の促進に努める。さらに、関係機関との連携を強化し、地域のニーズに応じた運営体制を整備することで、市民が安心して制度を利用できる環境を構築する。

第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標１－取組２】

（１）指標の状況

（計画冊子：P59）

No.	指標名	担当	指標の説明	（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値 R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
1	福祉の総合相談窓口の設置			―	―	設置	設置	設置	設置		令和５年４月に所管課を福祉総務課から生活支援課に変更。どの窓口に相談したらよいかわからないといった相談や、複合的な相談を受け付け、利用可能な制度や適切な相談窓口の案内を実施。今後も窓口についての周知を図り、相談業務を継続する。※令和５年度実施：初回相談件数４８２件、のべ相談件数６８９件	
		健康福祉部（生活支援課）	さまざまな困りごとを気軽に相談できる窓口の設置状況	未設置	未設置	設置	―	―	―			
2	民生委員・児童委員相談支援件数			―	―	3,400	3,400	3,400	維持	×	令和6年度は前年に比べ増加したものの、目標値には達しなかった。民生委員・児童委員の充足率の向上に努めていくとともに、「身近な相談相手」として認識してもらうよう、民生委員の活動の周知を行い、相談件数の増加を目指す。	令和７年度の相談件数は、前年より減少し、目標値に達しなかった。令和７年１２月に民生委員の一斉改選が行われ、新たに民生委員となった方が多数いるので、改めて民生委員の相談支援の重要性を共有し、件数増加を目指す。
		福祉総務課	民生委員・児童委員の相談支援件数［件］	3,435	3,433	3,198	2,775	2,836	2,457			
3	社協13支部における相談件数			―	―	15,000	15,000	21,000	増加	×	13支部拠点では、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために住民が身近な場所でも相談しやすいように、地域のコーディネーターを設置している。各拠点ともに、コーディネーターが常駐し「困りごと」の相談を受ける他「あったか見守りサービスの調整」「支部の事業、会議等の連絡調整及び準備・実施」で、拠点における対応件数は、21,302件に及んだ。今後も各支部で広報紙を発行し、地域活動情報の発信をするとともに、見守り協力員の募集や支部拠点のＰＲ強化に努めていく。	拠点での対応件数は21,075件と前年度に比べ微減ながら、各支部における積極的な取り組みが継続されている。この実績は、地域住民にとって「身近な場所で相談できる」環境が着実に守られていると言える。今後は、現在の安定した対応力を基盤としつつ、見守り協力員の募集強化などを通じて、さらなる地域福祉の推進と支え合いのネットワーク拡大に努める。
		社会福祉協議会	社協13支部における相談件数［件］	10,760	16,516	19,730	22,341	21,302	21,075			
4	地域包括支援センターにおける相談件数			―	―	61,000	62,000	63,000	増加	○	地域包括支援センターによる介護や生活等総合相談、権利擁護、実態調査、介護支援専門員（ケアマネジャー）に対する支援の実施のほか、介護支援専門員研修の開催や高齢者虐待防止アドバイザー相談等の実施に努めていく。	地域包括支援センターによる介護や生活等総合相談、権利擁護、実態調査、介護支援専門員（ケアマネジャー）に対する支援の実施のほか、介護支援専門員研修の開催や高齢者虐待防止アドバイザー相談等の実施に努めていく。
		高齢介護課	地域包括支援センターにおける相談件数[件]	57,253	60,852	59,366	62,232	64,481	64,560			
5	障害者生活支援センターにおける相談件数			―	―	15,000	16,000	16,500	増加	×	上尾市内４法人、市外１法人の計５法人に障害者生活支援センター業務を委託し、障害のある方からの生活相談、障害福祉サービス事業所等の利用相談、就労相談などに対し、必要な助言等を行っている。相談件数・実人数ともに前年度と比較して減少したものの、実人数の減約30人に対し相談件数の減約2700件と、困難ケースへの支援に一定の目途が立ったことによるものであり、取り組みについては引き続き実施していく。	上尾市内４法人、市外１法人の計５法人に障害者生活支援センター業務を委託し、障害のある方からの生活相談、障害福祉サービス事業所等の利用相談、就労相談などに対し、必要な助言等を行っている。相談件数および実人数が前年度と比較して減少したが、実人数は約40人の減少に対し、相談件数は約1,400件の減少となっている。この傾向は、困難ケースへの支援に一定の目途が立ったことことによるものと考えられ、今後もこの取り組みを継続して実施していく。
		障害福祉課	障害者生活支援センターにおける相談件数[件]	13,372	14,770	16,360	15,777	13,062	11,419			
6-1	地域子育て支援拠点における相談件数（面接）			―	―	2,600	2,600	3,000	増加	○	コロナ前の相談件数(H29/2,621件、H30/2,361件)を大幅に上回っており、地域子育て支援拠点施設として多くの相談を受け付けている。昨年度に比べ全体の面接相談件数は僅かに減少したものの、全体の利用者数は増加（R5/69,089人、R6/72,732人）しているため、引き続き各拠点と連携しながら相談しやすい環境の整備に努めていく。	コロナ前の相談件数(H29/2,621件、H30/2,361件)を大幅に上回っており、地域子育て支援拠点施設として多くの相談を受け付けている。昨年度に比べ全体の面接相談件数は増加し、全体の利用者数も増加（R6/72,732人、R7/74,087人）しているため、引き続き各拠点と連携しながら相談しやすい環境の整備に努めていく。
		こども支援課	地域子育て支援拠点における面接相談件数[件]	2,295	2,563	4,139	4,016	3,753	4,160			
6-2	地域子育て支援拠点における相談件数（電話）			―	―	250	250	250	維持	○	令和４年度から面接の相談件数が大幅に増えたことを背景に、電話相談の件数が減少している。また、全体の利用者数が増加傾向であることから、拠点職員との日常的な会話で悩みを解消し、電話相談に至らないケースもある。 しかしながら、様々な事情により面接での相談ができない乳幼児を持つ保護者も一定数いるため、引き続き各拠点と連携しながら電話相談の環境整備に努めていく。	令和４年度から面接の相談件数が大幅に増えたことを背景に、電話相談の件数が減少していたが、全体の利用者数の増加に伴い若干であるが昨年より14人増加となった。 様々な事情により面接での相談ができない乳幼児を持つ保護者も一定数いるため、引き続き各拠点と連携しながら電話相談の環境整備に努めていく。
		こども支援課	地域子育て支援拠点における電話相談件数[件]	313	248	125	128	102	116			
7	生活保護受給世帯の中学３年生の学習支援事業利用率			―	―	60	60	60	60	○	小学５年生以上の就学している対象者に、委託事業者による学習支援を行う。 特に、受験学年である中学３年生の利用を重点的に勧める。 令和６年度についても目標を下回る結果となったが、積極的に利用勧奨を勧めたことにより令和５年度より上昇した。 今後も引き続き、家庭訪問を含めた利用勧奨を行う。	小学５年生以上の就学している対象者に、委託事業者による学習支援を行う。 特に、受験学年である中学３年生の利用を重点的に勧める。 令和７年度については、積極的に利用勧奨を勧めたことにより、目標を上回る結果となった。
		生活支援課	生活保護受給世帯の中学３年生の学習支援事業利用率［%］	43	25	70	35	47	61			
8	生活困窮者に対する自立支援による就労・増収率			―	―	60	60	60	60	×	生活困窮者に対する、就労の支援を行う。 就労・増収率について、令和6年度は、就労支援対象者に占める65歳以上の割合が増加したこともあり、前年度から減少する結果となった。 今後も引き続き、就労に向けた支援を行う。	生活困窮者に対する、就労の支援を行う。 就労・増収率について、令和７年度は、前年度から就労支援対象者が減少し、就労・増収率も微減となった。 今後も引き続き、就労に向けた支援を行う。
		生活支援課	生活困窮者に対する自立支援による就労・増収率［%］	50	28	35	40	36	35			
9	ふくしの窓口における相談件数			―	―	―	―	300	300	○	どの窓口に相談したらよいかわからないといった相談や、複合的な相談を受け付け、利用可能な制度や適切な相談窓口の案内を実施。今後も窓口についての周知を図り、相談業務を継続する。※令和6年度実施：初回相談件数２９６件、再相談も含めると年間相談件数３９８件となった。	どの窓口に相談したらよいかわからないといった相談や、複合的な相談を受け付け、利用可能な制度や適切な相談窓口の案内を実施。今年度については、アウトリーチ対応もあり健康増進課、障害福祉課とともに対応した。今後も窓口についての周知を図り、相談業務を継続する。※令和7年度実施：初回相談件数３１０件、再相談も含めると年間相談件数４０３件となった。
		生活支援課	ふくしの窓口における相談件数[件]	―	―	―	―	296	310			

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	56%

（３）取組の進捗状況

B	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

令和7年度では、相談件数や利用者数の変化、新たな課題への対応が求められた。今後は民生委員の周知や見守り協力員の募集を進め、地域ネットワークの拡大を図る。相談体制を強化し、高齢者・障害者支援を充実させるとともに、子育て支援は相談しやすい環境の整備に取り組む。また、就労支援では利用促進を図り、ふくしの窓口では複合的な相談対応と関係部署との連携強化で市民ニーズに応えるよう取組んでいく。

第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標２－取組３】

（１）指標の状況

（計画冊子：P66）

No.	指標名 担当	指標の説明	（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値 R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
1	住宅改修給付件数（高齢者）		―	―	550	550	550	550	○	実績件数は在宅生活を中心に生活している方が一定数おられることに起因すると考えられる。今後も、住宅改修の必要性が認められたものについて、適正な介護保険給付を実施していく。	自宅で安全に自立した生活を送れるように、住宅改修の必要性が認められたものについて、介護保険給付を実施している。住み慣れた自宅で生活を継続するための支援となっている。継続し適正な給付に努めていく。
	高齢介護課	要支援・要介護認定を受けた人が居住している住宅の生活環境を整えるために改修した費用に対して介護保険給付をした件数［件］	540	631	601	634	704	701			
2	手話講習受講人数		―	―	増加	増加	増加	30	○	聴覚障害者の社会参加の支援や聴覚障害者の日常生活及び社会生活を保障するため、手話の普及・啓発、手話通訳者の養成を目的に、上尾市社会福祉協議会に委託し手話講習会を開催している。手話講習会を継続し、手話の普及・啓発に努める。	聴覚障害者の社会参加の支援や聴覚障害者の日常生活及び社会生活を保障するため、手話の普及・啓発、手話通訳者の養成を目的に、上尾市社会福祉協議会に委託し手話講習会を開催している。手話講習会を継続し、手話の普及・啓発に努める。
	障害福祉課	手話講習受講人数［人］	※コロナ禍未実施	25	34	42	53	47			
3	市内循環バス“ぐるっとくん”の利用者数		―	―	405,000	430,000	455,000	480,000	×	新型コロナウィルス感染拡大による行動制限が徐々に緩和されたことにより、利用者も増加に転じている。引き続き、コロナ禍前の水準となるよう利用者増を目指す。	令和7年度当初より運賃を100円から200円に値上げしたため、上半期の利用率が減少した。しかし年度末に向かって利用者数・利用率ともに増加傾向にある。料金改定の周知とともに利用者増を目指す。
	交通防犯課	ぐるっとくんの利用者数［人］	344,353	382,168	420,195	444,371	462,522	390,317			
4	市内循環バス“ぐるっとくん”の利用者数（介助・障害者）		―	―	46,900	50,100	53,300	56,740	○	新型コロナウィルス感染拡大による行動制限が徐々に緩和されたことにより、利用者も増加に転じている。引き続き、利用者促進策・障害者割引運賃の継続を実施し、コロナ禍前の水準となるよう利用者増を目指す。	割引運賃により障害者の利用者数は年々増加している。引き続き利用者促進策・障害者割引運賃の継続を実施する。
	交通防犯課	ぐるっとくんの利用者数のうち、介助者・障害者の数［人］	40,706	43,774	48,825	52,983	57,393	61,652			
5	訪問型サービスD（移動支援）		―	―	2	2	2	3	○	令和7年度に1団体増加。今後も地域の資源を把握しながら市内で活動希望がある団体に対して立ち上げ支援を実施する。	地域の資源を把握しながら市内で活動希望がある団体に対して立ち上げ支援を実施する。
	高齢介護課	訪問型サービスD補助対象団体数［団体］	1	1	2	2	2	3			
6	短期車いす貸出件数		―	―	150	150	300	300	○	総合福祉センター、上尾西地域福祉センター、社協13支部拠点に配置し、車いすが必要な人に身近な場所で貸出しをしている。相談も多く、貸出し件数も337件と増えている。一定のニーズがあるため、必要としている人に情報が届くよう、情報発信に努める。	社会福祉協議会（上尾保育所２階・総合福祉センター）、上尾西地域福祉センター、社協13支部拠点に配置し、車いすが必要な人に身近な場所で貸出しを行っている。相談は多く、貸出し件数は、312件となっている。ここ3年間は、毎年300件を超えるニーズとなっており、引き続き必要としている人に貸出をしている情報が届くように、情報発信に努める。
	社会福祉協議会	短期（2週間以内）車いす貸出年間件数［件］	130	168	244	330	337	312			

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	83%

（３）取組の進捗状況

B	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

高齢者や障害者などが安心・安全に暮らせる環境づくりとして、引き続き住宅改修による自立支援、手話の普及促進、地域内交通制度の利用促進、障害者割引運賃の継続、地域活動団体の立ち上げ支援、車いす貸出の拡充を含む多面的な取組を推進し、対象者が安全かつ円滑に生活や社会参加を継続できる環境づくりに努める。

第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標２－取組４】

（計画冊子：70）

（１）指標の状況

No.	指標名		（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値						達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
			R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	担当	指標の説明	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
1	地域防災訓練の実施率		―	―	100	100	100	100	×	昨年度より、７パーセントの訓練増となった。今後も引き続き自主防災会の理事会等を通して、各地域での自主的な訓練の実施を依頼していく。	昨年度より、３パーセントの訓練増となった。今後も引き続き自主防災会の理事会等を通して、各地域での自主的な訓練の実施を依頼していく。
	危機管理防災課	市内自主防災会116団体のうち、地域防災訓練を実施した割合［%］	94（H31）	44	61	81	88	91			
2	避難支援等関係者への名簿情報・個別避難計画の提供に係る避難行動要支援者の同意件数		―	―	30	30	30	30	×	令和6年度は、勧奨通知を送付できなかったが、年間6回の住民避難訓練で要配慮者の避難訓練を実施し、制度の周知や同意者数の増加に努めた。 R6実績：同意者数：55人	令和7年度は、市における避難行動要支援者の優先度（①地理的要件：荒川浸水想定区域による想定浸水深1.0m以上、②年齢要件：全年齢、③世帯要件：1名）を設定し、その対象者に対し、委託業者（無償）と連携し勧奨通知を送付した。
	危機管理防災課	避難支援等関係者への個別避難計画等の提供に係る避難行動要支援者の同意件数［件］	※システム整備	33	49	57	55	18			
3	福祉避難所数		―	―	35	38	38	38	×	令和６年度は新たに協定を締結した福祉避難所となる施設は無かったが、１箇所の施設と協定締結に向けた協議を実施中。	令和7年度は新たに協定を締結した福祉避難所となる施設は無かったが、令和6年度に引き続き、1箇所の施設と協定締結に向けた協議を継続中。
	危機管理防災課	協定を締結している福祉避難所の数［箇所］	32	32	32	32	32	32			
4	災害ボランティア育成人数（累計）		―	―	140	160	180	200	×	災害復興支援や全国の被災地支援を行っているボランティア団体が講師となり、災害ボランティア養成講座を開催。１０代～７０代と幅広い年齢層が参加し、講義・実技体験を行った。今後も講座等を開催していき、養成後の活動に結びつけていくように実施していく。	災害復興支援や被災地支援を行っているボランティア団体が講師となり、災害ボランティア養成講座を開催。10代1名と他40代～70代12名が参加し座学と実技（南京縛り・写真洗浄）の体験を行った。今後も講座等を開催していき、上尾市で災害が起きた際、現地で活動が行える地域住民の人材育成を目的として実施する。
	社会福祉協議会	災害ボランティアの累計育成人数［人］	97	※コロナ禍未実施	111	122	139	152			
5	市内における刑法犯認知件数		―	―	1,000	1,000	1,000	1,000	×	引き続き、刑法犯認知件数が減少するよう各犯罪情報の提供やパトロール活動の支援を実施する。	引き続き、刑法犯認知件数が減少するよう各犯罪情報の提供やパトロール活動の支援を実施する。
	交通防犯課	市内における年間刑法犯認知件数［件］	1,318	1,121	1,119	1,385	1,642	1,670			
6	消費生活相談件数		―	―	1,600	1,600	1,600	維持	○	消費者トラブル拡大防止のため、広報や関係団体と連携し、消費生活相談へつなげ解決へとつなげていく。	消費者トラブル拡大防止のため、広報や関係団体と連携し、消費生活相談へつなげ解決へとつなげていく。
	消費生活センター	年間消費生活相談件数［件］	1,628	1,506	1,706	1,725	1,812	2,009			

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	17%

（３）取組の進捗状況

C	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

引き続き、各地域での自主防災訓練の実施促進や避難行動要支援者への支援通知の実施、福祉避難所の拡充に向けた協議の継続、災害ボランティア養成講座の開催など、多面的な地域防災の取組を進めるとともに、犯罪防止のための情報提供やパトロール支援、消費者トラブル拡大防止に向けた相談窓口の周知など、地域防犯の支援体制を充実させ、安心・安全に暮らせる地域づくりに努めていく。

第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標２－取組５】

（１）指標の状況

（計画冊子：P75）

No.	指標名	担当	指標の説明	（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値 R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
1	上尾市見守りネットワーク加入企業数			－	－	160	163	166	169	×	令和６年度は、個人事業主など、幅広い働きかけに努めてきたが、事業者登録の増加には至らなかった。引き続き、企業だけに拘らず、地域に密着した個人事業主など、幅広く働きかけを行い、登録事業所の増加を目指す。	令和７年度は、事業撤退により１事業者の減となったが、新たに３事業者からの登録があり、160事業者の登録となった。目標値の169には届かなかったが、今後も引き続き、企業だけに拘らず、地域に密着した個人事業主など、幅広く働きかけを行い、登録事業所の増加を目指す。
	福祉総務課	上尾市見守りネットワークへの登録事業者数［社］		155	157	158	158	158	160			
2	見守り協力員数			－	－	140	160	180	200	×	見守り訪問時に屋内で倒れていたり、亡くなっていた利用者を発見するなどの事例があった。地域で孤立防止のために見守りや声かけなど日頃からのつながりは必要である。しかし、一方では見守り協力員の増員確保に向けて各支部ともに広報紙等で募集掲載するものの新たな人材の確保には至っておらず、また高齢による理由で登録を辞退される協力員もいる。今後も引き続き、社協会員会費のチラシや支部の広報誌、自治会での回覧など周知継続していく。	今年度も利用者がご自宅で亡くなっていたことの発見につながった事例があった。地域で孤立防止のために見守りや声かけなど日頃からのつながりは必要である。しかし、一方では見守り協力員の増員確保に向けて各支部ともに広報紙等で募集掲載するものの新たな人材の確保には至っておらず、また高齢による理由で登録を辞退される協力員もいる。今後も引き続き、社協会員会費のチラシや支部の広報紙、自治会での回覧など周知継続していく。毎年、気温上昇による夏場の見守りについては、協力員及び利用者等へ理解をいただき無理のない範囲での活動とした。また、高齢化や単身世帯が増加しており、地域とつながりのない方へのアプローチ方法を検討していく。
	社会福祉協議会	社協13支部における見守り訪問協力員数［人］		145	136	130	143	143	132			
3	若者相談における若者本人が相談した割合			－	－	62	63	64	65	×	専門の相談員が、ひきこもり、ニート、不登校などの困難を抱えるこども・若者やその家族を対象に相談に対応した。また、市HPにヤングケアラーについてや相談窓口等の情報掲載、地域の支援者向けにヤングケアラーに関する研修を行う等、周知啓発に努めた。子ども・若者自立支援事業「ルームここから」の登録者数は46名（R5年度36名）と増加した。引き続き、若者本人からの相談につながるよう相談窓口の周知啓発に努める。	専門の相談員が、ひきこもり、ニート、不登校などの困難を抱えるこども・若者やその家族を対象に相談に対応した。また、市HPにヤングケアラーについてや相談窓口等の情報掲載、地域の支援者向けにヤングケアラーに関する研修を行う等、周知啓発に努めた。こども・若者自立支援事業「ルームここから」の登録者数は51名（R6年度46名）だった。引き続き、相談窓口の周知啓発と相談体制の維持に努める。
	こども家庭保健課	若者相談において若者本人が相談した割合［%］		50	54	50	35	59	63			
4	オレンジカフェ（認知症カフェ）参加人数			－	－	600	700	1,800	維持	○	令和6年度は基本的に集合型での開催ができた。参加者はのべ1,606人であり前年に比べ減少傾向である。令和7年度以降も引き続き集合型の開催を予定している。	令和7年度は基本的に集合型での開催ができた。参加者はのべ1,667人であり前年に比べ増加傾向である。令和8年度以降も引き続き集合型の開催を予定している。
	高齢介護課	オレンジカフェ（認知症カフェ）に参加した人数［人］		246	1,286	1,601	1,727	1,606	1,667			
5	ピアサポート講座参加人数			－	－	30	30	30	30	○	対面によるピアサポート講座を開催した。引き続き、障害者相互の支えあい（ピアサポート）の促進を継続していく。	当事者の方々も実行委員に加わっていただき、３日間にわたるピアサポート講座を開催した。引き続き、障害者相互の支えあい（ピアサポート）の促進を継続していく。
	障害福祉課	ピアサポート講座に参加した人数［人］		※コロナ禍未実施	38	33	32	40	37			
6	こんにちは赤ちゃん訪問面会率			－	－	92.0	93.0	94.0	95.0	○	訪問件数　令和6年度：　1,384件 前年度に引き続き、出産・子育て応援事業に伴う訪問件数の増加、面会率の向上が続いている。子育て支援サービスの情報提供や育児に関する母親の相談に応じ、早期に支援が必要な家庭を把握し支援につなげ、子育ての孤立防止に努めていく。（令和７年度～こども家庭保健課に移管）	訪問件数　令和7年度：1,322件 乳児のいる全ての家庭を訪問し、こどもの発育、健康状態等の確認をしながら、子育ての相談に応じ支援が必要な家庭に対しては適切な支援につなげ、子育ての孤立防止に努める。
	こども家庭保健課	年間出生数に対して訪問員が生後４か月までの乳児と面会できた割合［%］		92.6	90.2	91.4	98.7	99.2	99			

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	50%

（３）取組の進捗状況

B	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

見守りネットワークの登録者数拡大を目指し、多様な事業者に働きかけるとともに、見守り協力員の新規確保に努める。ひきこもりやヤングケアラーへの支援では、相談窓口の周知を継続し、相談しやすい環境整備に努める。また、障害者のピアサポート活動や乳児家庭訪問を推進し、安心・安全に暮らせる環境づくりに取組む。

第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標３－取組６】

（１）指標の状況

（計画冊子：P81）

No.	指標名		（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値						達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
			R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	担当	指標の説明	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
1	近所付き合いについて「ほとんど（もしくはまったく）付き合いはない」（市民アンケート調査）		―	―	―	―	―	減少	×	取組６における市・社協の取組を通じて、「地域福祉」や「地域共生社会」への周知・啓発、意識の醸成を図る。	令和7年11月～12月に実施した市民アンケートでは、前回（令和2年度）に実施したアンケートに比べ、近所付合いの減少が3.1%増加した。引き続き、市・社協の取組を通じて、「地域福祉」や「地域共生社会」への周知・啓発、意識の醸成を図り、地域交流の促進に努めていく。
	福祉総務課	計画策定時の市民アンケート調査結果［%］	10.2	―	―	―	―	13.3			
2	地域活動やボランティア活動に現在参加している割合（市民アンケート調査）		―	―	―	―	―	増加	○	取組６における市・社協の取組を通じて、ボランティア・福祉教育の推進やボランティア活動の広報・周知を進め、市民の地域活動やボランティア活動への参加を支援・推進する。	令和7年11月～12月に実施した市民アンケートでは、前回（令和2年度）に実施したアンケートに比べ、0.4%とわずかながら増加した。引き続き、市・社協の取組を通じて、ボランティア・福祉教育の推進やボランティア活動の広報・周知を進め、市民の地域活動やボランティア活動への参加を支援・推進する。
	福祉総務課	計画策定時の市民アンケート調査結果［%］	15.6	―	―	―	―	16			
3	地域で取り組まれているサロンなどの活動数		―	―	100	102	104	増加	○	(高齢)アッピー元気体操などの介護予防を主体とした住民主体の団体（通いの場）について、令和6年度は91団体が上尾市地域介護予防活動支援補助金を活用している（うち新規6団体）。引き続き通いの場の立ち上げや運営について支援していく。	(高齢)アッピー元気体操などの介護予防を主体とした住民主体の団体（通いの場）について、令和7年度は97団体が上尾市地域介護予防活動支援補助金を活用している（うち新規8団体）。引き続き通いの場の立ち上げや運営について支援していく。 （社協）上尾市集いの場活動団体補助金及び市社協地域交流サロン事業補助金申請団体を対象とした140団体を網羅した「つどいの場マップ」を発行し、行政や地域包括、民生委員等へ広く配布することで地域情報の可視化を推進している。配布を通じて最新の活動状況を収集・把握し、既存サロンの運営支援や新規団体の立ち上げに向けたアウトリーチ活動を展開して、地域の社会資源をより住民に対してわかりやすく伝えていく。
	高齢介護課 社会福祉協議会	地域で取り組まれている活動への助成団体数［団体］	75	88	122	215	235	通いの場：97 社協140			
4	地域福祉懇談会参加人数		―	―	増加	増加	増加	600	○	地域に関係者が集まり地域の実情や課題などに触れ、話し合い、その課題解決のために取り組めることが利点であり、その地域に特色を出すことが出来る。反面、社協支部の活動は全地区（自治会）が同じ方向性をもって取り組めるような目標を掲げている為、支部圏域内において自治会ごとに活動の差が生じてしまっている。また、今年度は、多くの地域が開催したが、報告から地域関係者の講座や勉強会にとどまっているところもあり、今後の地域福祉懇談会の在り方について検討していく。	今後も小地域（自治会単位）で関係者が集まり地域の実情に合わせた課題などを話し合い、その課題解決のために取り組めることが利点であり、その地域に特色を出すことが出来る。反面、社協支部の活動は全地区（自治会）が同じ方向性をもって取り組めるような目標を掲げている為、支部圏域内において自治会ごとに活動の差が生じてしまっている所もある。今後の地域福祉懇談会の在り方について検討する必要性がある。
	社会福祉協議会	地域福祉懇談会への参加人数［人］	※コロナ禍未実施	556	785	790	1,095	873			

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	75%

（３）取組の進捗状況

B	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

市民に対する地域福祉や地域共生社会の周知啓発を通じ、意識の醸成を図り地域交流を活性化させるとともに、ボランティア活動や福祉教育の広報・支援を拡充し、地域活動への参加を促進する。住民主体の介護予防活動団体や交流団体の立ち上げ・運営を支援し、「つどいの場マップ」を発行・活用することで、地域情報の利便性向上と社会資源の普及を目指す。また、小地域の実情に応じた課題解決を支援しつつ、懇談会のあり方について検討を進める。

第3次上尾市上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画（指標評価）

第３次上尾市地域福祉計画・第６次上尾市地域福祉活動計画

【基本目標３－取組７】

（１）指標の状況

（計画冊子：P86）

No.	指標名	担当	指標の説明	（上段）各年度目標値 / （下段）各年度実績値 R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度評価	【令和6年度（※参考）】取組内容とその評価・今後の方針等	【令和7年度】取組内容とその評価・今後の方針等
1	健康マイレージ新規参加人数			―	―	1,000	1,000	1,000	維持			
		健康増進課	新規で健康マイレージ事業に参加した人数［人］	1,056	1,070	1,018	421	―	―			
2	健康長寿サポーター養成講座受講人数			―	―	130	140	200	150	○	出前講座を中心に展開し、令和６年度の目標値(150)を上回り、昨年度に引き続き目標を達成することができた。なお、埼玉県事業である、健康長寿サポーター事業は令和６年度をもって終了となるため、市における養成も終了。	令和７年度より健康長寿サポーター事業の取組を継承した「みんなで健康マイスター事業」が開始となった。市政出前講座として８回（167人受講）実施した。今後もさらなる健康づくりの取組を拡大するため、事業を実施していく。
		健康増進課	健康長寿サポーター養成講座を受講した人数［人］	119	210	220	251	207	167			
3	ゲートキーパー養成講座受講人数			―	―	85	90	95	100	○	ゲートキーパー養成については、市職員の階層別研修、出前講座、商工課主催メンタルヘルスセミナー、さらには市民向けのメンタルヘルス講座の中で実施した。今後もゲートキーパー養成に取り組んでいく。	ゲートキーパー養成については、市職員の階層別研修、出前講座、商工課主催メンタルヘルスセミナー、さらには市民向けのメンタルヘルス講座の中で実施した。今後もゲートキーパー養成に取り組んでいく。
		健康増進課	自殺予防のゲートキーパー養成講座を受講した人数［人］	70	162	231	107	131	143			
4	認知症サポーター養成講座受講人数			―	―	400	400	400	400	○	認知症サポーター養成講座の開催希望のあった団体等に対して、キャラバンメイトのマッチングをするなどし、計39回の開催をし、参加者は計858名（うち3回は市主催の講座開催、参加者77名）であった。また、認知症サポーターを受講した住民に対して認知症サポーターステップアップ講座を開催し、計5回(うち市主催1回)106名（うち市主催の参加者は18名）参加した。引き続き開催を支援していく。	認知症サポーター養成講座の開催希望のあった団体等に対して、キャラバンメイトのマッチングをするなどし、計24回の開催をし、参加者は計742名（うち3回は市主催の講座開催、参加者50名）であった。また、認知症サポーターを受講した住民に対して認知症サポーターステップアップ講座を開催し、計4回(うち市主催1回)73名（うち市主催の参加者は14名）参加した。引き続き開催を支援していく。
		高齢介護課	認知症サポーター養成講座を受講した人数［人］	380	112	387	563	858	742			
5	地域の担い手育成講座受講人数（累計）			―	―	520	580	640	700	×	傾聴ボランティア養成講座を実施　全３日（７月４日、１１日、１８日）。受講者３０人。ボランティアに興味・関心がある方には、上尾傾聴の会ダンボを紹介し活躍できる機会を提供した。また、災害ボランティア養成講座をＲ６年１１月３０日にＲｅＶＡ復興ボランティアチーム・上尾の協力のもと実施。参加者　１７人受講したが、養成後の活動に結び付けられていないのが継続課題となっている。	傾聴ステップアップ講座をＲ７年７月２４日、Ｒ８年２月１６日に２回実施。受講者延べ２３人。今回の対象が日頃傾聴活動を実施されている方等を対象にステップアップするための講座として開催。参加者も傾聴ボランティアグループの方、個人として施設で傾聴活動をされている方が主であった。また、災害ボランティア養成講座をＲ８年３月１５日にＲｅＶＡ復興ボランティアチーム・上尾の協力のもと実施。参加者１３人受講した。養成後の活動に結び付けられるよう災害ボランティアに登録してもらい、今後、情報の提供を行っていく。
		社会福祉協議会	地域の担い手育成講座を受講した累計人数［人］	458	※コロナ禍未実施	495	101	583	619			
6	ボランティア活動参加者数			―	―	3,400	3,800	4,200	4,600	×	幅広い世代の方々の活動のきっかけとなるよう、「あげお社協だより」・ホームページ・X(旧ツイッター）などで、夏休みボランティア体験・障がい者の理解を深める心と身体の健康講座などを周知し開催した。ボランティアへの関心が持てるような講座などを開催していく。	幅広い世代の方々の活動のきっかけとなるよう、「あげお社協だより」・ホームページ・X(旧ツイッター）などで、講座の周知を行い、夏休みボランティア体験・障がい者の理解を深める心と身体の健康講座、ボランティアミニ講座などを周知し開催した。ボランティアへの関心が持てるような講座などを開催していく。指標の設定を毎年ボランティア数が一律で増加していくのは無理があるため、指標の設定を検討する。
		社会福祉協議会	ボランティア活動保険加入者数と福祉サービス総合補償加入者数の合計［人］	4,316	3,263	3,423	3,330	3,245	3,409			
7	「あげお健康＋（ぷらす）」登録者数			―	―	―	―	8,000	10,000	○	令和６年度の目標値(8,000)を超えることができ、目標を達成することができた。 令和７年度はPDCAサイクルの「はかる」「わかる」「きづく」「かわる」を基本に市民が楽しんで、自発的かつ継続的に健康づくりの取り組みを行って行く。	令和７年度の目標値(15,000)を超えることができ、目標を達成することができた。 令和８年度はPDCAサイクルの「はかる」「わかる」「きづく」「かわる」の基本線を維持し、市民が楽しみながら、自発的かつ継続的に健康づくりへ取り組めるよう施策を実施していく。
		健康増進課	「あげお健康＋（ぷらす）」登録者数［人］	―	―	―	―	8,000	15,382			
		¥										

（２）指標の達成状況

目標に達している指標	67%

（３）取組の進捗状況

B	A：順調（すべての指標が目標値達成） B：概ね順調（目標値達成した指標が半数以上） C：やや遅れ（目標値達成した指標が半数未満）

（４）今後の方針等（次年度以降の方向性）

地域福祉活動の活性化と担い手育成を目指し、「みんなで健康マイスター事業」や「認知症サポーター養成講座」を継続実施するほか、「傾聴ステップアップ講座」や「災害ボランティア養成講座」を通じ、実践的な人材育成に努める。今後は、幅広い世代が参加しやすい環境や講座の周知を進め、市民の自主的・継続的な健康づくりへの取り組みを支援する。「あげお健康＋（ぷらす）」では、PDCAサイクルを活用して自発的かつ継続的に健康づくりへ取り組めるよう施策を実施していく。